

☆ねらい

○接続詞の that を用いて、友達のいいところを表現することができる。

☆扱う場面

2年生。接続詞の that の学習後。普段の学校生活や、直前の学校行事等での友達のいいところ探しの活動の一環として扱う。

☆教材及び単元

New Crown English Series 2 - Lesson 3 For Our Future

☆指導の手順と留意事項

学習活動	指導の仕方・留意点等
① 教科書を用いて接続詞の that を学習する。	<ul style="list-style-type: none"> ・接続詞 that の文法と使い方を確認する。 ・that が省略できるのはどのような時か確認する。
② ワークシートを使い、友達のいいところ見つけをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス全員の名前が入った表を生徒一人一人に配り、各名前の横に、いいところを日本語でメモさせる。 ・メモを参考に、I think that ～. を用いて英作文をさせる。
③ ポリアンナの葉に英作文をすする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートで書いた英作文のチェックを受けたら、ポリアンナの葉に英作文を書きうつす。
④ ポリアンナの葉を友達に読んで手渡す。	<ul style="list-style-type: none"> ・書いた英作文を友達に言いながら、ポリアンナの葉を渡す。
⑤ 友達から受け取ったポリアンナの葉をワークシートに貼りつける。	<ul style="list-style-type: none"> ・ポリアンナの葉をワークシートの木の幹に貼りつけて、ポリアンナの木を完成させる。

